



西日本花き株式会社でのセリ風景



様々な花きについて研修する部会員

【フロールすず】

＊【お花の宅配便】で活力ある組織づくり＊

フロールすずでは、栽培技術の向上や情報収集、また会員相互の親睦を図るため、毎年、視察や研修会、各種イベントでの直売等、活力ある組織づくりを目指して、色々な活動に取り組んでいます。

その活動の1つとして、2年前から県や市関係者の協力のもと、「お花の宅配便」を始めました。

これは、市場の価格変動に左右されない安定した収入の確保と珠洲産花きのPRを目的に、自分達が栽培した花を直接、消費者へ配送するものです。宅配に関しては、素人なので、消費者からのアンケートをもとに、可能な限り要望に応えられるよう知恵を出し合いながら、消費者に喜ばれる商品を心がけています。

注文の取りまとめは、市花き栽培センターで行い、結束や箱詰め作業は全て会員が行います。一緒に作業をすることにより、一体感が生まれ、和気あいあいとした雰囲気がか全体に広がっています。

当初、60件程度の注文数でしたが、現在では200件（450ケース配達/年）まで増え、全国各地へ配送しています。消費者からお礼や激励の手紙が届くようになり、栽培への励みになっています。

これからも、たくさんの人に喜んでもらえるような花づくりを目指し、元氣あふれる組織にしていきたいと思っています。



配送直前の箱詰め作業（トルコギキョウ）

◆今後の活動予定◆

- 11月下旬 切花葉ボタン現地検討会

花だより

●発行 石川県花き園芸協会
事務局:石川県農林水産部農畜産課内
金沢市穀月1丁目1番地
TEL (076)225-1622
FAX (076)225-1624

Vol.2

発行日 平成18年10月31日

主な活動内容

第2回石川県花き品評会を開催

7月31日(金)、本県の主要花きである8月盆向けの「キク」「ケイトウ」を対象に、第2回石川県花き品評会を開催しました。加賀市、白山市、金沢市、中能登町、志賀町から「キク」16点、「ケイトウ」3点、合計19点の出品があり、栽培圃場単位で審査を行いました。

審査委員は、石川県農業総合研究センター育種栽培研究部長の田中さんをはじめ、農業総合研究センター園芸栽培グループ、金沢総合花き株式会社、株式会社金沢花市場、全農石川県本部、県農畜産課の担当者及び協会の寺本会長の7名で、開花及び生育状況、病害虫の有無、圃

場管理の状況を審査しました。

本年は、春先から少雨、日照不足が続き、生育や開花に及ぼす影響が懸念されましたが、出展された「キク」「ケイトウ」とも仕上がりは上々でした。

表彰式は、来年2月に行う予定です。

意欲的に出展して下さいました会員をはじめ、品評会の実施にあたりご協力下さいました関係者の皆様、ありがとうございました。第3回以降につきましても、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。



開花状況、圃場管理等を審査する審査委員



第3回東京国際フラワーEXPOが開催される

10月19日(木)から21日(土)にかけて、千葉県「幕張メッセ」を会場に、日本最大の花の国際商談会「第3回東京フラワーEXPO」が開催されました。年々、参画する産地や花き関連企業等が増加しているこの商談会について、事務局が調査してきましたので報告します。

主催は、日本フローラルマーケティング協会(JFMA)、リードエグジジションジャパン株式会社で、約600社が参加、うち海外からは200社ほどが出展しました。

国内の産地や種苗メーカーは、輸入花きとの差別化を図るため、地域の特徴をいかした特産花きやオリジナル品種を多く展示していました。また、売上が伸び悩んでいるスーパーでの販売を促進するため、仲卸業者が、産直や既成概念にとらわれない商品提案等消費者の購買意欲を刺激する販売方法について提案していました。

各産地の出展の仕方は、大きく2つのパターンにわかれてきました。1つは、出荷している市場のブースにおいて花きを出展する方法、もう1つは、沖縄・九州ブースのように地域でまとまり共同で出展する方法です。量的に少なくとも、花きをPRする工夫がみられました。

本県産の花きについては、枝物や切花葉ボタン等を出荷している大阪の「株式会社なにわ花いちば」が、JAはいの「サンゴミズキ」を

使った豪華なアレンジメントを展示し、商品紹介のパンフレットを配布していました。

この商談会では、種苗メーカーの育種の方向や新たな流通のあり方、消費者への新たな商品提案等、生産、流通、販売の視点でいろんな情報が交換されています。次年度以降も開催される予定なので、皆さんも機会をつくり参加してみたいかがでしょう。



仲卸業者が販売方法、商品を提案



東京国際フラワーEXPOの会場



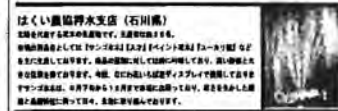
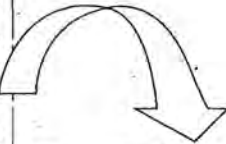
九州(福岡、長崎、大分等)・沖縄の共同出展ブース



仏花の提案



種苗メーカーが品種を紹介



JAはいのサンゴミズキを使用したアレンジメント、産地紹介パンフレット
(磯なにわ花いちばのブース)

会員の活動を紹介

【JA小松市花卉部会】

＊『花を買う側』の意見を生産に反映＊

JA小松市花卉部会は、主にトルコギキョウ、ストックを金沢総合花き(株)と西日本花き(株)へ出荷しています。生産者数は、トルコギキョウ3人、ストック9人と多くないものの、生産者の栽培技術のレベルは高く、生産者一人ひとりの花きに対する栽培意識はとても高いものとなっています。

その意識を反映して、今年は「花を買う側」である仲卸業者など市場関係者の要望等を聞く

ため市場へ視察に行きました。そこでは小松産に対する意見を聞き、全国各地の様々な出荷状況をこの目で確かめてきました。

また、種苗メーカーを講師として定期的に招き、生産者全員の園場巡回を行い園場ごとのきめ細かいアドバイスを受けるなど栽培技術の向上にも励んでいます。

日々変わりゆく市場のニーズにどこまでこたえられるかが今後の課題となりますが、変化を受け入れながらも、自分達にとってよりよい方向に進んでいくよう、日々切磋琢磨しています。